

東洋水産から株主の皆様へ 2016年4月1日～2016年9月30日

第69期中間報告書



Smiles for All.

すべては、笑顔のために。

株主・投資家の皆様へ

株主の皆様におかれましては、日頃よりご支援を賜り、心より感謝申し上げます。当社第69期第2四半期決算を終えましたので、営業の概況をご報告申し上げます。

当中間期の概況（連結）

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな回復基調で推移しましたが、アジア新興国を中心とした経済成長の減速や英国のEU離脱問題等により海外経済の不確実性が高まり、依然として景気の先行きは不透明な状態が続いております。

このような状況の中、当社グループは「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」という企業スローガンの下で「食を通じて社会に貢献する」「お客様に安全で安心な食品とサービスを提供する」ことを責務と考え取り組むと

3ヶ年中期経営計画

当社グループは、平成29年3月期からの3年間を対象とする3ヶ年中期経営計画を策定し、その最終年度である平成31年3月期において、売上高430,000

ともに、厳しい販売競争に対応するため、より一層のコスト削減並びに積極的な営業活動を推進してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は182,111百万円（前年同四半期比3.1%減）、営業利益は13,445百万円（前年同四半期比7.5%増）、経常利益は14,211百万円（前年同四半期比8.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9,832百万円（前年同四半期比18.6%増）となりました。

百万円、営業利益30,500百万円（売上高営業利益率7.1%）、経常利益31,500百万円をそれぞれ達成することを目標としております。



いまむら まさなり
代表取締役社長 今村 将也

3ヶ年中期経営計画における 4つの基本戦略



TOYO SUISAN

カテゴリーNo.1商品の育成

海外展開の加速

事業の選択・集中・連携

経営基盤の進化



3ヶ年中期経営計画進捗：関西工場の稼働

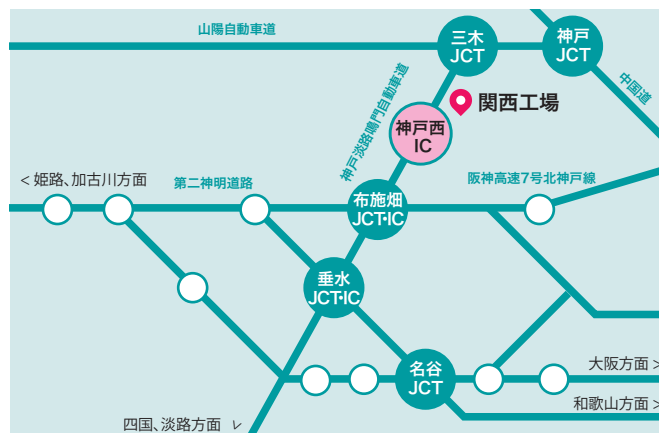
2015年8月より兵庫県神戸市西区に建設中であった「関西工場」及び「関西物流センター」が2016年8月に竣工致しました。新工場は中四国・九州地区を含めた西日本全域に対する即席麺供給基幹工場で、生産能力はすでに即席麺の生産を終了した神戸工場の約1.5倍となります。

関西物流センターは、関西工場の製品のみならず他工場の製品の集約、配送も行い西日本地区を幅広くカバー致します。この度の関西工場、関西物流センター完成を契機に、より一層の顧客満足のため、サービスの強化に努めて参ります。

○ 関西工場の概要

所在地	兵庫県神戸市西区見津が丘6丁目8番
総投資額	約197億円
施設の概要	構造 鉄骨造3階建て 敷地面積 62,500㎡ 延床面積 42,000㎡
設置ライン	即席麺類 合計4ライン(カップ麺、袋麺)
生産品目	赤いきつねうどん・昔ながらのソース焼そば・カレーうどん他
設備の特徴	大型の直線ラインによる省力設備 衛生と品質管理を重視した最新の設備 空調の集中管理システムの導入 資材自動倉庫設置による原材料管理体制の集約と効率化 断熱性が高い環境配慮型の建屋構造

○ アクセスマップ

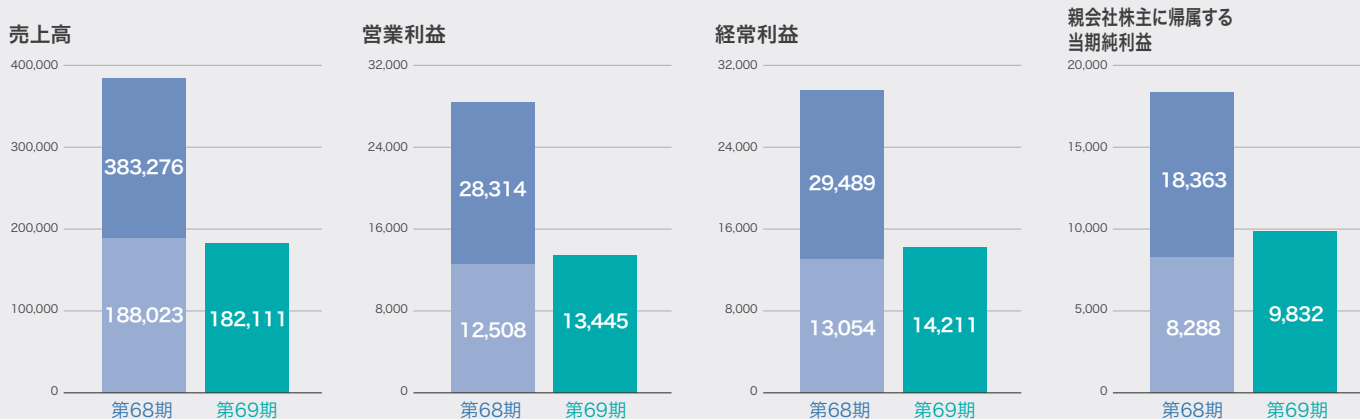


第69期第2四半期決算報告

主要連結財務データ及びセグメント別概要をお知らせします。

■ 決算短信ハイライト (単位：百万円)

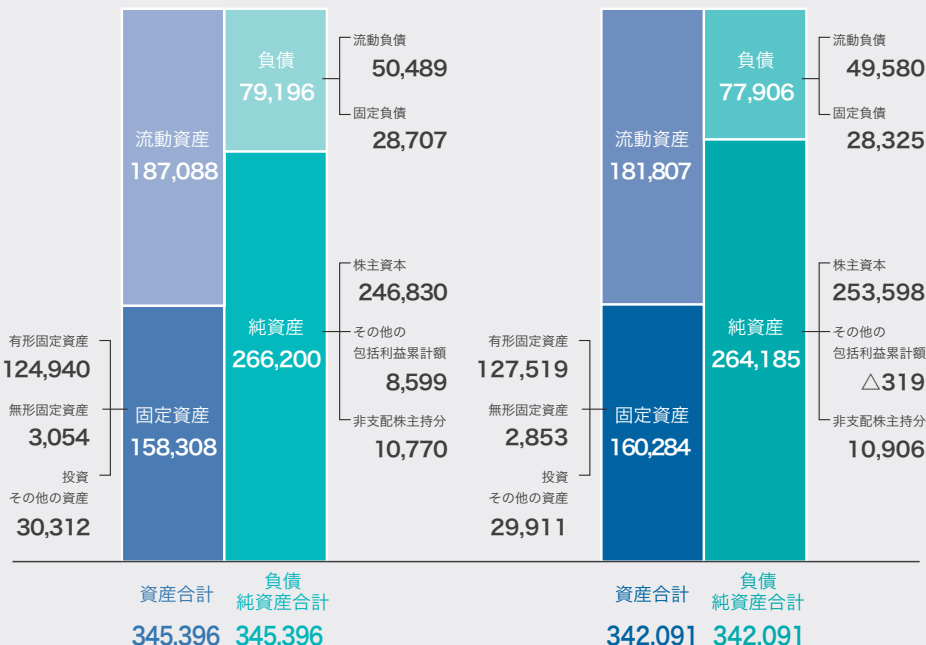
第68期 第2四半期 第68期 通期 第69期 第2四半期



■ 連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)

前期末 [68期] (2016年3月31日現在)

当第2四半期末 [69期] (2016年9月30日現在)



資産の部

主に建物及び構築物、機械装置及び運搬具が増加しましたが、現金及び預金、受取手形及び売掛金、建設仮勘定が減少しました。

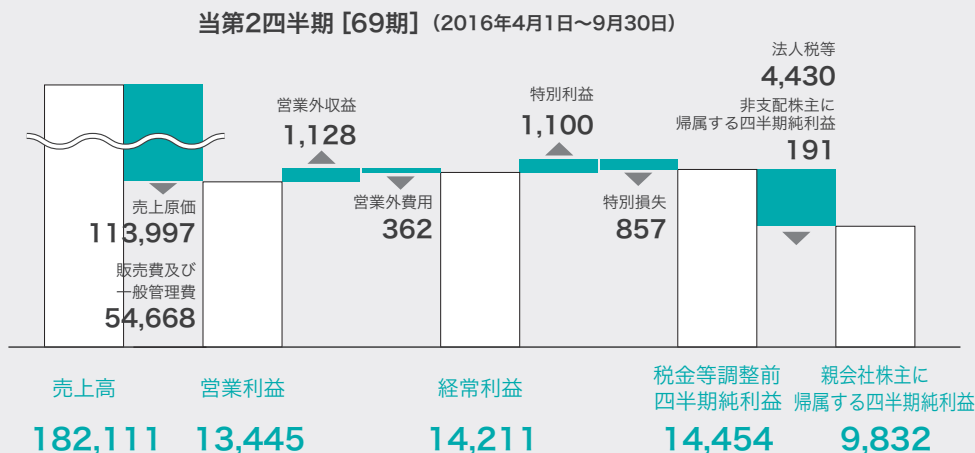
負債の部

主に未払費用、未払法人税等が減少しました。

純資産の部

主に利益剰余金が増加しましたが、為替換算調整勘定が減少しました。

■ 連結損益計算書の概要（単位：百万円）



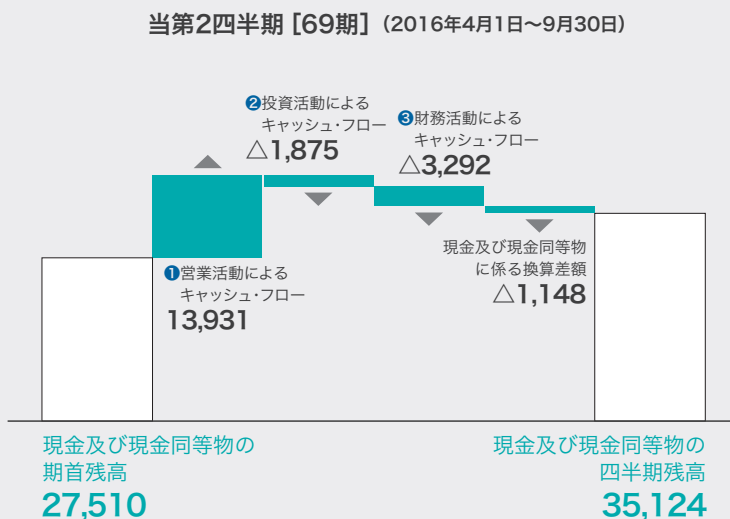
売上原価

国内において主力商品が好調に推移した結果、売上原価率が下がりました。

特別利益

冷蔵事業における、福岡アイランドシティ稼働による補助金収入がありました。

■ 連結キャッシュ・フロー計算書の概要（単位：百万円）



① 営業活動によるキャッシュ・フロー

たな卸資産が増加し、未払費用が減少しましたが、売上債権の減少等により、資金は増加しました。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

定期預金の払戻があったものの、有形固定資産の取得に資金を使用しました。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に配当金の支払に資金を使用しました。

セグメント別概要

水産食品事業



売上高 **15,539** 百万円 (前年同四半期比 7.1%減) 営業利益 **△22** 百万円 (前年同四半期は △232百万円)

コンビニエンスストア向けの販売が競争の激化により減少したこと、また採算性を重視した販売を優先したことから、売上高は 15,539 百万円(前年同四半期比 7.1%減)となりました。一部魚種の原料価格の改

善が進み、セグメント損失は 22 百万円(前年同四半期はセグメント損失 232 百万円)となりました。



海外即席麺事業



売上高 **32,541** 百万円 (前年同四半期比 19.6%増) 営業利益 **5,286** 百万円 (前年同四半期比 7.1%減)

アメリカでは厳しい販売環境の中、量販店での特売や新商品の投入等積極的な販促活動を行いました。好調な雇用環境や賃金の増加による消費者心理は即席麺カテゴリーには追い風とならず縮小傾向が続いております。メキシコでは現地通貨安の進行により厳しい販売環境が続いておりますが、袋麺の拡販

等により販売数量は増加しました。その結果、円高の影響もあり売上高は 32,541 百万円(前年同四半期比 19.6%増)となりました。セグメント利益は、原材料価格の低下等により現地通貨ベースでは増益となりましたが、円高の影響により 5,286 百万円(前年同四半期比 7.1%減)となりました。

国内即席麺事業



売上高 **55,514** 百万円 (前年同四半期比 2.9%増) 営業利益 **3,833** 百万円 (前年同四半期比 4.9%増)

カップ麺では基幹商品である「赤いぎつねうどん」「緑のたぬき天そば」を中心とした和風麺シリーズや「マルちゃん正麺 カップ」が好調に推移したほか、主力商品の「麺づくり」や、オープンプライス商品の「ごつ盛り」が引き続き堅調に推移しました。袋麺は、市場全体が厳しい環境の中、「マルちゃん正麺」シリーズで新フレーバーを投入する

など需要喚起に努めましたが、減収となりました。その結果、売上高は 55,514 百万円(前年同四半期比 2.9%増)となりました。セグメント利益は、ブランド強化のための販売促進費や広告宣伝費の増加はありましたが、売上増に加え、動力費や物流コスト等が減少したことにより 3,833 百万円(前年同四半期比 4.9%増)となりました。

低温食品事業



売上高 **35,186** 百万円 (前年同四半期比 1.4%減) 営業利益 **2,487** 百万円 (前年同四半期比 21.9%増)

生麺類では主力商品の「マルちゃん焼そば3人前」シリーズが好調に推移しましたが、季節商材の冷しラーメン類が減収となり、全体では前年並みとなりました。チルド・冷凍食品類では、主力商品のしゅうまいは前年並みに推移しましたが、冷凍食品は価格競争が激化し減収となりました。その結果、売上高は

35,186 百万円(前年同四半期比 1.4%減)となりました。セグメント利益は、主力商品の伸長による利益の増加に加え、不採算商品の見直しなど収益強化への取り組みにより、2,487 百万円(前年同四半期比 21.9%増)となりました。

加工食品事業



売上高 **10,067** 百万円 (前年同四半期比 8.5%増) 営業利益 **328** 百万円 (前年同四半期比 3.5%増)

主力商品の米飯は、ライフスタイルの変化や品質に対する認知度の上昇、自然災害に対する備蓄需要の増加による拡大基調が続く中、積極的な販促活動により、増収となりました。フリーズドライ製品は主力の5食入り袋スープを中心に、量販店等で好調に推移して

おります。その結果、売上高は10,067百万円(前年同四半期比8.5%増)、セグメント利益は328百万円(前年同四半期比3.5%増)となりました。

冷蔵事業



売上高 **8,658** 百万円 (前年同四半期比 5.1%増) 営業利益 **995** 百万円 (前年同四半期比 4.5%増)

平成28年3月に福岡アイランドシティ物流センターが稼働したことや、積極的な営業活動を実施したことで受託品取り扱いが好調に推移し、売上高は8,658百万円(前年同四半期比5.1%増)となりました。セグメント利益は、福岡アイランドシティ物流

センターの稼働にともない減価償却費が増加しましたが、動力費等の経費削減と売上増が寄与し、995百万円(前年同四半期比4.5%増)となりました。

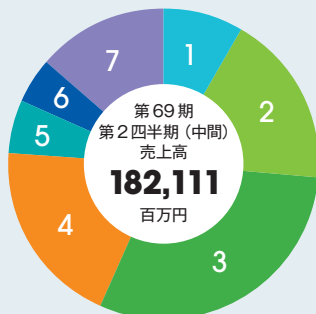
その他

売上高 **24,605** 百万円 (前年同四半期比 3.7%増) 営業利益 **886** 百万円 (前年同四半期比 143.0%増)

その他事業は、主に弁当・惣菜事業であります。売上高は24,605百万円(前年同四半期比3.7%増)、セグメ

ント利益は886百万円(前年同四半期比143.0%増)となりました。

事業セグメント別売上高構成比



1. 水産食品事業	8.5%	15,539	百万円
2. 海外即席麺事業	17.9%	32,541	百万円
3. 国内即席麺事業	30.5%	55,514	百万円
4. 低温食品事業	19.3%	35,186	百万円
5. 加工食品事業	5.5%	10,067	百万円
6. 冷蔵事業	4.8%	8,658	百万円
7. その他	13.5%	24,605	百万円



マルちゃん 正麺 カップ 発売 1 周年

さらなるおいしさを追求

麺の製造工程と原材料を見直し、よりなめらかでほぐれやすい麺に仕上げました。また、「濃厚とろ豚骨」のスープは豚骨の風味をアップさせ、より本格的な味わいに変更しました。

麺がさらになめらかに、ほぐれやすくなりました。



芳醇こく醤油



香味まろ味噌



濃厚とろ豚骨



旨みだし塩



うま辛担担麺

マルちゃん 正麺 袋麺 発売 5 周年

「新」スープだから、具材を入れれば、さらにおいしく

4品とも、そのまま食べてもおいしく、更に野菜等との相性もより良くなりました。「新」スープ×生麺うまいまま製法*で、「いま抜群においしく、そして10年後も20年後も古びることなく愛され続ける即席麺」を目指します。 ※特許第5153964号

スープが新しくなった4つの定番フレーバー



醤油味



味噌味



豚骨味



塩味



ベースはそのままに、厚みをもたせて濃厚感をアップ

ポークエキスを増量し、
全体的なコクの幅をアップ



ずっと変わらない、この味を。 マルちゃん焼そばの新感動!をみなさまに。

1975年の誕生から、愛され続けて41年。

マルちゃん焼そばは、おかげさまで2015年もチルド麺売上No.1*に。

そして2016年も、焼そばの世界をもっとワクワクさせる、

さまざまな活動を展開しています。*㈱インテージSC1「生麺ゆで麺」2015年1～12月「ブランド別金額シェア」データより



2014年度

マルちゃん焼そば、 再発見!

技術革新により、発売以来初めてとなるリニューアルを実施。めんのお食感を変えることなく、さらにほぐれやすく改良しました。パッケージも改良し、焼そばの話題性創出に取組みました。



2015年度



マルちゃん焼そば、新体験!

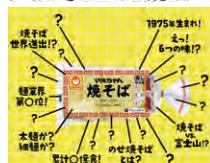
発売40周年の感謝をこめた年間プロモーションの実施や、季節限定商品の発売、新たな食べ方提案などを展開。

マルちゃん焼そばの食卓での登場回数増加、新たなファンの獲得に取組みました。

2016年度



知られざるヒミツ続々!

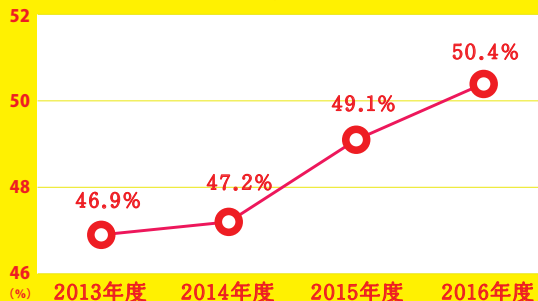


マルちゃん焼そば、新感動!をテーマに、「焼そばLABO」から、マルちゃん焼そばのヒミツや気になるトピックスを公開中です。

マルちゃん焼そばの情報は [マルちゃん焼そば](#)

[検索](#)

生麺ゆで麺 3食入り焼そばにおける 当社販売金額シェア
(2013年～2016年における各年度4月～9月期間計)



*㈱インテージSC1「生麺ゆで麺」、3食入り焼そばにおけるメーカー別販売金額シェア
2013年～2016年における各年度4月～9月期間計



世界へ広がる、マルちゃん味の味

マルちゃん味の素インド社 インドで即席麺事業が開始

東洋水産株式会社は、味の素株式会社との間で2014年12月に設立したインドにおける合弁会社（マルちゃん味の素インド社）で本年11月より即席袋麺の生産を開始しました。両社は、マルちゃん味の素インド社を合弁で設立し、早期の市場進出に取り組んできました。

インドでは、中間所得層の購買力の高まりおよび人口の増加を背景に、即席麺市場が拡大しており、今後も安定的な拡大が期待されています。（2014年の市場規模53億食、2008年～2014年の年平均伸長率20%、出典：世界ラーメン協会）

今回、東洋水産側の開発・生産力と、味の素側のマーケティング・販売力の融合により、今までにない新しいフレーバーの即席袋麺を開発してまいります。



MARUCHAN AJINOMOTO INDIA PRIVATE LIMITED マルちゃん味の素インド社



所在地	インド共和国 タミル・ナードゥ州カンチプラム県
設立時期	2014年12月3日
事業内容	即席麺の製造・販売
資本金	12.7億ルピー（約19.3億円）
	※1ルピー=1.52円（2016年9月末時点）
株主構成	東洋水産株式会社 51%、味の素株式会社 49%

中南米市場での取り組み

当社グループでは、2015年に駐在事務所をチリに設置致しました。また2016年には、ポルトガル語パッケージ商品の展開やSNSの充実を図るなどして、ブランドの浸透と中南米での市場拡大に向けて着実に取り組んでおります。

ポルトガル語パッケージ商品の展開



チキン味をはじめ、袋麺・カップ麺合わせて10アイテムを展開中



ブランド浸透に向けた現在の取り組みの一例



SNS充実化



試食アンケート



「笑顔」をお届けする社会貢献活動

当社グループでは、食品事業に携わる一企業として
「お客様や社会に笑顔をお届けしたい」という思いのもと、
自然環境の保護から食の安全・安心に向けた品質管理、
そして地域貢献活動まで様々な取り組みを日々行っております。

地域貢献活動への取り組み ～埼玉工場～

当社グループでは、企業スローガン「Smiles for All. すべては、笑顔のために。」に基づき、各事業所で地域に根ざした社会貢献活動に取り組んでいます。

埼玉工場では、日高市内の小学校高学年の児童を対象にした「マルちゃん うどん教室」を開催しています。これは同市教育委員会が毎年夏休みに実施している、小学生向け体験プログラムの講座の1つで、今年で3回目となります。

8月10日(水)に実施した教室では、当社のチルドうどんに使用しているものと同じ小麦粉を使って、うどん生地から作りました。参加した子供たちは、慣れない作業に苦心しながらも、楽しそうに取り組んでいました。また、生地を寝かせる時間には、工場でのうどん製造工程の説明を行い、商品への理解を深めてもらいました。最後に各自手作りのうどんを試食した際には、皆さんが笑顔になっており、夏休みの良い思い出となったようでした。

これからも各地で地域社会への貢献を行ってまいります。



災害支援活動への取り組み ～平成28年熊本地震～



この度は「平成28年熊本地震」に被災されました皆様及び関係者の皆様に対しまして深くお見舞い申し上げます。当社グループでは、熊本地震においても災害支援として積極的な取り組みを行ってまいりました。

東洋水産株式会社としての災害支援

当社グループでは震災発生後、市や自治体を始めとする皆様へ少量ではございますが、カップ麺、袋麺、魚肉ハムソーセージを始めとする当社製品を合計で約15万食提供させていただきました。

株主優待制度における災害支援

当社株主優待制度では株主様の優待品に代えて、優待相当額を社会貢献活動団体へ寄付していただくことができます。本年度は241名の株主様よりお預かりいたしました846,500円を8月15日(月)に日本赤十字社へ「平成28年熊本地震」義援金として寄付させていただきました。ご協力いただきました株主様へは改めまして厚く御礼申し上げます。

※寄付金にかかる領収証は発行いたしません。

■ 会社概要 (2016年9月30日現在)

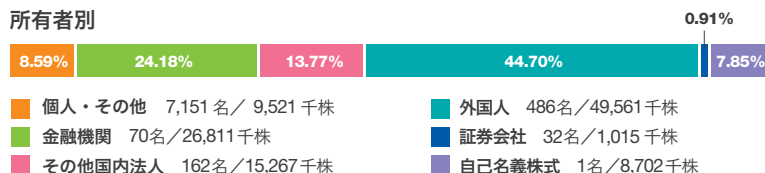
社名	東洋水産株式会社 Toyo Suisan Kaisha, Ltd.
創立	1953年3月25日
資本金	189億69百万円
従業員数(連結)	4,749名
本社	〒108-8501 東京都港区港南2丁目13番40号 TEL. (03)3458-5111(代表)
創業者	森 和夫
代表者	会長 堤 殷 社長 今村 将也
事業所数	工場 8・冷凍冷蔵庫 14、支店・営業所 28
関係会社	34社(海外11社含む)

■ 株主メモ

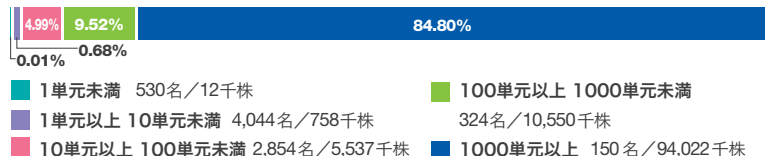
事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	期末配当は3月31日 中間配当を行う場合は9月30日
公告方法	電子公告 ただし電子公告できない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。 アドレス http://www.maruchan.co.jp/
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
単元株式数	100株
上場証券取引所	東京証券取引所(市場第一部)

■ 株式分布状況

所有者別



所有株数別



■ 株式に関する各種手続きについて

・住所変更、単元未満株式の買取、配当金受領方法の指定等

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

・特別口座から証券会社の口座への振替申請

特別口座の株式については、単元未満株式の買取請求を除き売買ができません。売買を行う場合は証券会社の口座への振替が必要になります。お手続きの詳細は、左記「株主メモ」記載の電話照会先にご確認ください。

・未払配当金の支払請求

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

ゆうちょ銀行の貯金口座で配当金をお受取りいただけます

配当金の振込先として、銀行等の預金口座に加えて、ゆうちょ銀行の貯金口座もご指定いただけます。

希望される場合は、株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。